

Teams における教職関連「チーム」のご案内《重要》

後期教職ガイダンスは対面では実施しませんが、ホームページで公開するガイダンス資料の重要事項などをまとめた動画を Microsoft Teams（以下、Teams）上に公開します。教職ガイダンス資料を入手したうえで、下記の手順に従い必ず視聴してください。

1. Microsoft Teams 上での教職関連「チーム」の確認とガイダンス動画の再生

前期から本学で使用している Teams 上で、教職関連のチームが立ち上がっています。

※まだ Teams を使用したことがない人やパスワードを忘れた人は、本資料の 3 ページ目を見てください。

本学の学生に発行されているアカウントで「サインイン」（【学籍番号】@teams.kyukyo-u.ac.jp を入力）し、各自の Teams の画面（図 1）で教職関連の「チーム」が追加されているか確認してください。

※図 1 では全学年のチームが表示されていますが、実際には学年に応じて該当するチームだけが登録されています（履修状況によっては、自身の学年と異なるチームに登録されている場合があります）。

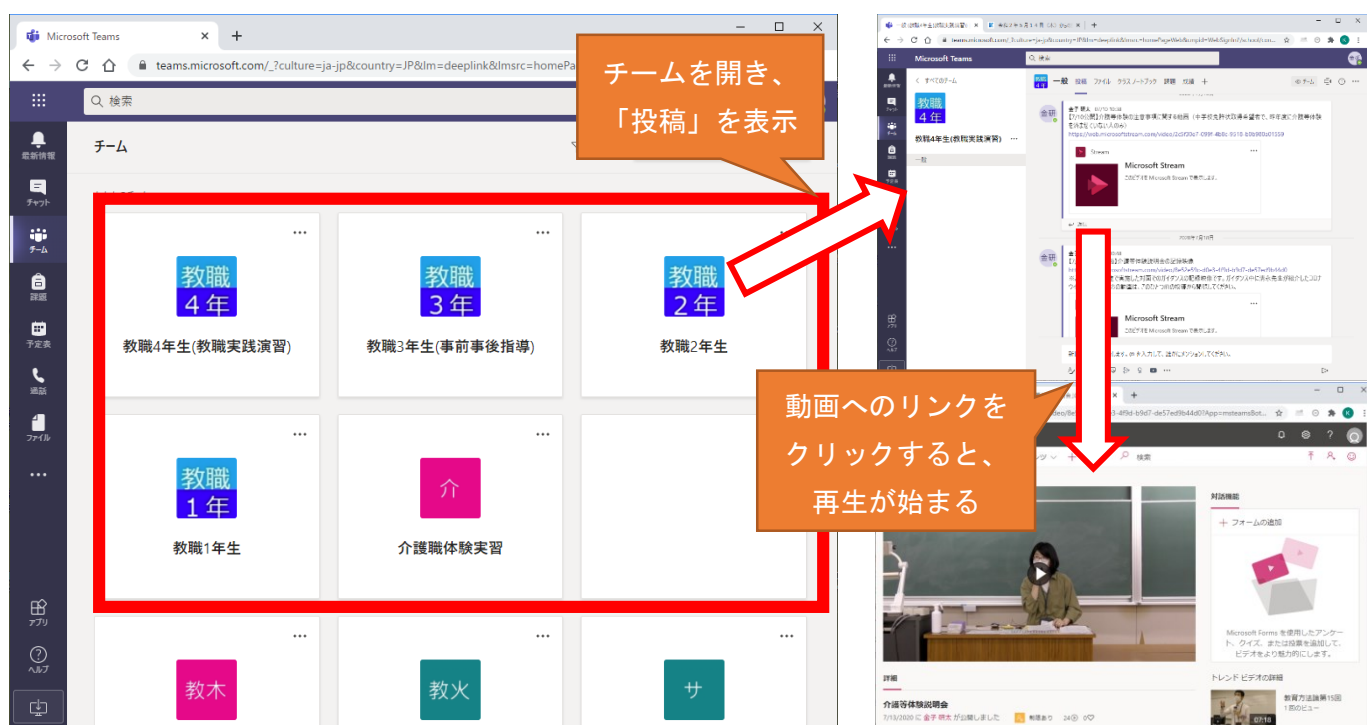


図 1 「サインイン」後の Teams 上の画面と操作（左の赤枠は教職関連の「チーム」）

チームを開くと表示される「投稿」欄や「課題」欄に連絡事項や動画へのリンクが掲載されます。資料を手元に準備した状態でリンクをたどり、ガイダンス動画を再生してください。

※Teams から動画へのリンクをクリックした際、再ログインを求められることがあります。その際は Teams に「【学籍番号】@teams.kyukyo-u.ac.jp」を再度入力してください。

※ホームページへの資料掲載後、動画が再生できるようになるまで数日かかることがあります。動画へのリンクが表示されていないときは、時間をおいて再度アクセスしてください。

※動画は何度でも見返すことができますので、不明な点がなくなるまで繰り返し視聴してください。

2. スマートフォン・タブレットでの視聴

Teams にはスマートフォンやタブレット端末上のアプリからアクセスすることが可能です。3 ページ掲載のマニュアルを参照し、各 OS のアプリストアから Teams アプリをインストールしておくことをお勧めします。

メニューからチームを選択の上、教職関連チームの「一般」をクリックすると、チームのコンテンツを表示することができます（図 2・3）。



図 2 サインイン直後

図 3 チーム内画面

図 4 設定画面

当該アプリでは、情報の更新があった場合に通知を設定しておくことができます（図 4）。アプリのインストール後は通知設定の確認をお願いします。

3. 今後の教職関連の連絡について

① 1 年生・2 年生

教職関係の連絡事項を Teams の「教職 1 年生」「教職 2 年生」のチーム内に掲載することがあります。学生ポータルや学内の掲示等に加えて、Teams 上の連絡を見落とさないよう、各自の端末に Teams アプリをインストールの上、通知を設定してください。

② 3 年生・4 年生・科目等履修生

前期から開設されている「LINE 公式アカウント」に未登録の人は登録してください。LINE 上で重要事項を配信します。また、4 年生「教職実践演習」及び 3 年生「事前事後指導」の授業や「介護等体験」に関する連絡、課題の提示は Teams 上で行います。Teams アプリの更新通知を設定するなど、確認漏れのないようにしてください。

3 年生 LINE 公式アカウント (@418kdtya)



<https://lin.ee/4zGihWweZ>

4 年生 LINE 公式アカウント (@839etpqe)



<https://lin.ee/Dw43WQFM>

※今年度に教育実習を予定している学生はこちら

4. Teams のマニュアル及びログイン方法について

①Teams サイトへのアクセスおよび Teams アプリのインストール

Teams へのアクセスおよびアプリのインストールを説明したマニュアルを以下の URL で配布しています。

○ マニュアルの URL https://www3.kyukyo-u.ac.jp/t/k058/dd_files/teams/

※上記 URL を開く際は認証が必要です。ID に kyukyo、パスワードに university と入力してください。

※上記 URL は令和 2 年 10 月末までアクセス可能とする予定です。Teams の仕様変更等の状況によっては、公開しているデータを差し替えたり、URL を変更し、別の方法でマニュアルを提供する場合があります。

※マニュアルへのアクセスができない場合や、マニュアルを見ても不明な点が解消されない場合は、教務課に連絡の上、サポート窓口にお問い合わせください。



②ログインアカウント

本学の学生用 ID で、Teams を利用するためのアカウントの初期設定は以下の通りです。

○ サインインアドレス (=アカウント) 【学籍番号】@teams.kyukyo-u.ac.jp

※学籍番号の A は小文字 (例:20a9876@teams.kyukyo-u.ac.jp)

○ パスワード AA〇〇〇〇〇〇

※パスワードの〇は学生ポータルで利用していたものと同じです。

ブラウザ (Edge、Chrome、Safari 等) でログインができない場合、アプリを起動させてアプリ内でログインすると成功することがあります。特にスマートフォンからのアクセスの場合は、必ずアプリを使うようにしてください。

教職履修カルテの入力について 《重要》

教職履修カルテについては、教職課程を履修する全学生が必ず行う必要があります。また、令和2年度後期より UNIPA での登録となります。別紙の「履修カルテ 操作説明書」に従って、下記の期間中に入力を完了させてください。入力していないと「教職実践演習（中・高）」が受講できなくなります。また、教職課程履修願を未提出の場合は入力できません。

なお、入力方法等、不明な点は教務課へお尋ねください。

記

【入力について】

- ①入力要領については、別紙『履修カルテ 操作説明書』で確認して入力してください。
②教職履修カルテの入力項目は以下の5つです。自己を振り返って、入力を行ってください。

1	目標設定	今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、現在の学年欄について、今年度の目標を入力してください。
2	資格関連科目 修得状況	今年度前期を振り返って、入力してください。
3	学外活動に関する科目	今年度前期を振り返って、入力してください。特に書くことがない場合は、記入の必要はありません。
4	必要な資質能力についての自己評価	<p>【1年生】 来年度前期に今年度分を振り返って入力します。（今回は、この項目に関して入力は不要です。）</p> <p>【2・3年生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（現2年生は、1年生の欄に入力。現3年生は2年生の欄に入力すること。）</p> <p>【4年生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（3年生の欄に入力。） また、4年生前期を振り返って4年生の欄に入力してください。</p>
5	教職を目指す上での課題・対策	<p>【1年生】 今回の履修カルテ入力期間に、今年度分を入力してください。</p> <p>【2～4年生】 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、今年度分を入力してください。</p>

- ③入力後は、必ず確定ボタンを押してください。また、一旦ログアウトして、再度ログインして、正しく登録されているか確認してください。

【入力期間・学内利用可能場所について】

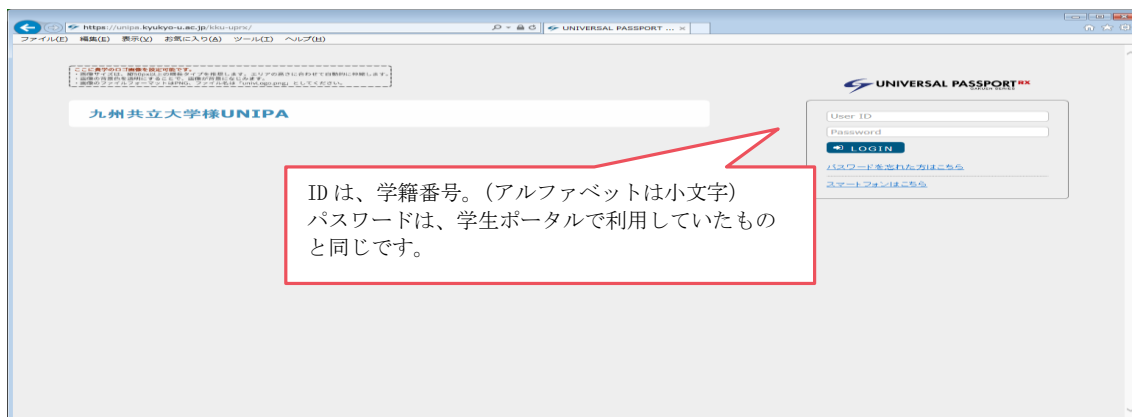
入力期間：9月14日（月）9：00～17：00
9月15日（火）9：00～15：00
学内利用可能場所：深耕館オープンルーム
（ネット環境のあるパソコンからであれば自宅等からも入力可能です。）

以上

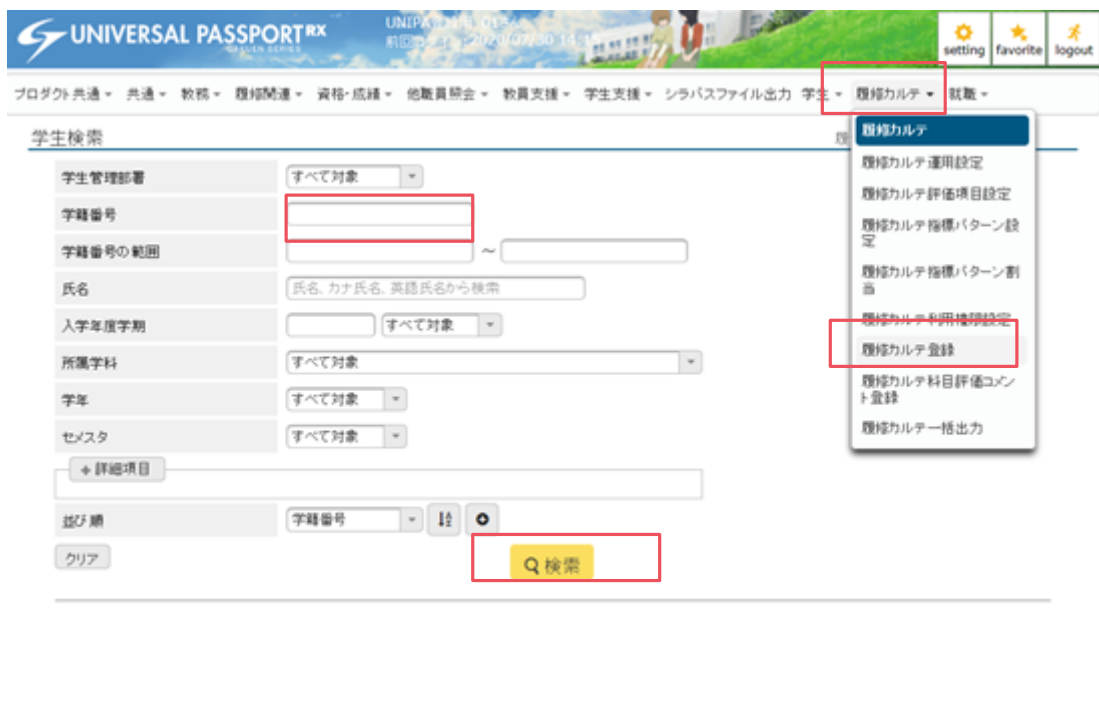
履修カルテ 操作説明書

1. UNIVERSAL PASSPORT にアクセスし、ID およびパスワードを入力。

URL <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>



2. 上部のメインメニューの[履修カルテ]より、[履修カルテ登録]を選択します。その後、学籍番号を入力し、検索ボタンを押してください。



3. 【履修カルテ登録】画面が表示されます。

① 『基本情報』タブを押下し、『目標設定』エリアを設定します。

提出受付中

[提出受付中]になっているときに学生は履修カルテの更新が可能です。

PDF/Excel 形式で履修カルテのダウンロードが可能です。

2019 年度以前に入学した学生については、以前のシステムのデータが、全て 1 年次の枠に登録されているため、必要に応じて修正してください。

また、改行等の体裁も現システムの枠に合わせて必要に応じて修正してください。

一定時間画面操作がない場合、ログアウトされ、保存を押していない入力内容は破棄されますので定期的に一時保存をしてください。

対象学年	学修や卒業後の目標
1年次	
2年次	
3年次	
4年次	
教育実習終了時	

② 『資格関連科目 修得状況』エリアでは、プルダウンから資格を選択すると、下部に資格関連科目で修得した科目の一覧が表示されます。

資格 教職希望(スポーツ)

科目	単位数	修得年度学期	担当教員	素点	学修の振り返り
バドミントン	1.0	2018年度前期	田島 さと		A

・学修の振り返りを入力してください。

・2019 年度以前に入学した学生は、今まで自己評価を A~E でおこなった上で、コメントを書いてきましたが、今後は、コメントのみの入力によいです。

・入力可能文字数は半角 200 文字までです。(全角は 2 文字でカウントします。)

・2019 年度以前に入学した学生は、以前のシステムに制限文字数以上の入力があったものについては、200 文字以降が切り捨てられているため、修正してください。

③『学外活動に関する記録』エリアを設定します。行追加をクリックすると入力エリアが表示されます。

④『自己評価』タブを押下し、『必要な資格能力についての自己評価』エリアを設定します。

資格プルダウンから資格を選択し、各指標の自己評価を入力します。

以下の項目の自己評価を入力して下さい。

A 目標達成度80%以上(達成している)
 B 目標達成度60%以上80%未満(達成に近づきつつある)
 C 目標達成度40%以上60%未満(中間的段階である)
 D 目標達成度20%以上40%未満(初歩的段階から一定の進歩がみられる)
 E 目標達成度20%未満(初歩的段階)

⑤『教職を目指す上での課題・対策』エリアを設定します。

⑥履修カルテの入力が完了したら【確定】をクリックしてください。

教育実習について

教育実習は、教員をめざす学生が教壇に立ち、教員としての業務を体験する実習科目です。通常の実習科目と異なるのは、実習場所が大学内ではなく、外部の中学校や高校で行う点です。そのため、教育実習を履修するために、まず授業体験を受け入れてくれる中学校や高校（以下、実習校）を決める必要がありますが、実習校にとって教育実習は、授業進行の遅れや指導教員の負担につながるなど、必ずしも歓迎できるものではないところがあります。

しかしながら、教員育成という立場から、実際には多くの学校が快く教育実習を受け入れていますので、教育実習を履修する学生は、教員になるという強い意思と実習校に対する感謝の念をもって教育実習に臨んでほしいと思います。

【内諾書類の配布について《重要》】

教育実習内諾書類は、以下の日程において、教務課で配付します。必ず、期日内に取に来るようにしてください。また、受け取った内諾書は、速やかに教育実習希望校へ提出するようにしてください。なお、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教育実習希望校に持参か郵送かを確認の上、先方の指示に従って提出してください。

配付日時：9月16日（水）～9月18日（金） 各日10：00～17：00

配付場所：教務課

【教育実習における留意事項】

実習校は、皆さんが将来必ず教員になることを前提に、実習の受け入れをしています。そのため、実習にあたっては以下のことに留意してください。

1) 教育実習先について

実習受け入れは、実習校と九州共立大学（以下、本学）の学校間の契約として成立します。つまり、本学は公的に実習生を実習校に送るわけですから、実習生個人の判断で実習先を変更したり、取りやめたりすることはできません。

※実習について相談すべきことが生じたときは、まずは本学の教職担当教員もしくは教務課に相談してください。実習校に直接相談してはいけません。

2) 教育実習日程について

内諾(仮契約)の時点で決定した実習日程は、いかなる理由があっても変更できません。また、教育実習期間中に、課外活動の大会や就職試験等が重なっても、実習校にこのような理由により休みを申し出ることはできません。したがって、教育実習の日程については、そうした個人的な用事と重ならないか、各自が事前に十分な注意を払う必要があります。なお、内諾の日程については、各自、教務課で確認するようにしてください。

3) 教育実習期間中の就職活動および課外活動について

教育実習は、教員になることを前提にしていますので、教育実習期間中の就職活動および課外活動はできません。

4) 実習校の正式な決定について

実習校から内諾書が届いた時点で、本学との仮契約の状態になります。その後、実習年度の4月に本学より実習校に承諾申請をおこなうことで、正式の契約となります。

【補足事項】

教育実習については、卒業後に「科目等履修生」として履修することができます。

教育実習期間中の注意事項

教育実習は、卒業後に教員になることを前提に受けるものであり、実習校は、卒業後すぐに教壇に立ち、即戦力となれるよう実習の内容を考え、スケジュールを組んでいる。

実習校には、現場で多忙の中、教員育成のためにご尽力いただいていること、また、実習校の生徒たちの大切な時間であることを忘れてはいけない。さらに、教育実習は「させてい
ただいている」という感謝の気持ちで臨むこと。

教育実習期間中における以下の注意事項を確認し、教育実習に専念すること。

- 1 勤務時間、実習方法等は実習校の指示に従うこと。
指導教員の指導を受けながら、教材研究に積極的に取り組むこと。
課題や指導を受けた点については、次の日に活かすよう努力すること。
放課後の時間は、部活指導や教材研究に努めること。
- 2 就職活動・部活動（大会参加を含む。）など教育実習に関係のない活動は禁止する。
実習校に上記の理由により休みを申し出る等は厳禁とする。
- 3 個人情報の取り扱いには、十分気をつけること。
教育実習期間中の出来事について、他者に口外しないこと、また、SNS等ネットへの書き込みや写真の掲載は厳禁。
- 4 欠席・遅刻・早退をしないこと。
体調管理には十分注意すること。
- 5 実習校への通勤は公共交通機関を利用すること。
- 6 社会人としてマナーやルールを守ること。

※ 上記のことは教育実習を受ける姿勢として当たり前のことである。これらのことが守られない場合、教育実習の承諾を受けていても実習校側から受入れを取り消される場合がある。また、違反した場合、大学の「事前事後指導」の単位を与えないことがある。

教職課程履修要件内規について

1. 教職課程履修要件内規について

3年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認してください。また、自分の入学年度の修得科目確認表で自分の履修状況の確認をした上で、内規要件を満たすように履修登録をしてください。また、前期に google form で確認した誓約に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

《教職課程履修要件内規》

【経済学部 経済・経営学科】

経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

(1) 3年次終了までに、〈教科に関する科目〉から教免必修科目を含む 28 単位以上、〈教職に関する科目〉のうち教科教育法を含む 14 単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表キ（第 7 条関係）に定める全科目(免許法施行規則第 66 条の 6 に関する科目)の単位を修得済みであり、かつ、上記教職関連全科目を含む 3年次終了までの GPA(成績評価値)2.0 以上であること。

経済学部は内規を変更しているの、注意してください。

(2) 3年次後期に開講している「事前事後指導（教育方法論）」を受講していること。

(3) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

【スポーツ学部 スポーツ学科】

スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

(1) 体育実技科目は、3年次終了までに 10 単位以上修得済みであること。
ただし、体育実技科目 10 単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ(教科に関する科目)に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。

(2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道徳教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。

なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。

(3) 3年次後期に開講している「事前事後指導（保健体育科教育法Ⅳ）」を受講していること。

(4) 学則第 39 条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

2. その他

・GPA については、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。なお、次ページ以降に抜粋を掲載していますので参照してください。

成績評価

①科目ごとに GPA 制度*による基準で下表のように成績評価がおこなわれます。

合 否	評価基準	「成績通知書」 評価表示	「成績証明書」 評価表示	GP (Grade Point)
合 格 (単位修得)	100~90点	秀	秀	4.0
	89~80点	優	優	3.0
	79~70点	良	良	2.0
	69~60点	可	可	1.0
不 合 格	59~1点	不可	表示されません	0
	0点	不可×		0
	失 格 (授業出席日数不足など)	失格		0

※評価基準(点数)は成績通知書に表示されません。

※「失格」科目の単位数も GPA のポイント計算の単位数に含まれます。

②追試験を受けた科目については、①と同様の評価基準で成績評価がおこなわれます。
ただし、「成績通知書」評価通知は、下表のとおり通知されます。

評価基準	「成績通知書」評価通知	「成績証明書」評価表示
60点以上	秀(追)、優(追)、良(追)、可(追)	秀、優、良、可
59点以下	不可(追)	表示されません

③再試験を受けた科目については、下表の基準で成績評価がおこなわれます。

評価基準	「成績通知書」評価通知	「成績証明書」評価表示
60点	可(再)	可
59点以下	不可(再)	表示されません

GPA のポイント計算例

授業科目名	単位数	評価	ポイント数
ことばと日本文化	2単位	優	2単位×3.0P=6.0P
歴史と国際情勢	2単位	秀	2単位×4.0P=8.0P
人間と哲学	2単位	優	2単位×3.0P=6.0P
英語 I	1単位	良	1単位×2.0P=2.0P
ドイツ語 I	1単位	可	1単位×1.0P=1.0P
健康の科学	2単位	優	2単位×3.0P=6.0P
職業人入門	2単位	優	2単位×3.0P=6.0P
経済学概論	2単位	不可	2単位× 0P= 0P
経済史	2単位	良	2単位×2.0P=4.0P
合 計	16単位		39.0P

◎上記の科目修得をした学生の GPA (平均グレードポイント) は
 $39.0P \div 16 \text{ 単位} = 2.43P$ となります。

上表では「経済学概論」が(不可)の評価です。もし「経済学概論」が(可)評価であったならば、どうなるでしょう？

⇒ 2単位×1.0P=2.0Pが加算されて GP 総合計は 41P になります。したがって、GPA(グレードポイント平均値)は $41P \div 16 \text{ 単位} = 2.56P$ となり、0.13P 上がります。一目瞭然ですね。履修した科目に「不可」の評価がつくと、GPA が下がるのです。これが GPA 制度の特徴であり、厳しさでもあります。

忘れないでください！履修を始めた科目を途中であきらめると、GP の平均値が下がります。一度履修を決めた科目は、単位修得に努めましょう。GPA を上げるか下げるかは自己責任ですが、少しでも GPA を上げると、成績優秀者表彰などの支援を受けることが可能となります。

※履修申告後、自分が申告した履修科目について、修正する期間を設けています。その間に取り下げをおこなった科目については、GPA のポイント計算には反映されません。言い換えれば、履修申告をした科目を放棄し、授業を受けないままにしておく「失格」の評価となり、必然的に GPA が下がります。本学が定める履修修正期間に、受講を取りやめる科目は削除してください。なお、履修修正期間後であっても、怪我等により「実技科目」の受講が不可能となった場合は、履修の取り消しが可能です。

修得科目確認表 平成29年度(2017)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
- ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表ア(第3条関係) | 学籍番号 A (ふりがな) 氏名

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科)2017

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数			年次配当時間数								本学最低 修得単位数														
				必修	教 免 必 修	選 択	1年		2年		3年		4年																
							前	後	前	後	前	後	前	後															
中 一 種 免 (社 会)	日本史 及び 外国史	1単位	日本史(教)	2			2																		6単位以上				
			西洋史(教)	2			2																						
			東洋史(教)	2				2																					
			経済史		2				2																				
			経営史		2					2																			
			日本経営史		2							2																	
			日本経済史		2							2																	
			経済学史		2							2																	
			近代日本経済史		2									2															
	西洋経済史		2										2																
	東洋経済史		2											2															
	地理学 (地誌を含 む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2							2															6単位以上			
			地誌学(教)	2										2															
			人文地理学概論(教)	2							2																		
			都市経済学		2											2													
			地域経済論		2										2														
	「法学、 政治学」	1単位	法律学概論(国際法を含む。)(教)	2							2															2単位以上			
			民法(総則・物権)		2						2																		
			民法(債権)		2							2																	
			行政法(作用法・組織法)		2										2														
			行政法(救済法)		2											2													
			労働と法		2											2													
	「社会学、 経済学」	1単位	マクロ経済学入門		2						2															8単位以上			
			マクロ経済学		2							2																	
			ミクロ経済学入門		2							2																	
			ミクロ経済学		2							2																	
			職業人入門	2				2																					
			統計学入門		2							2																	
統計学				2								2																	
医療・福祉マネジメント				2											2														
経済政策入門				2								2																	
経済政策				2									2																
財政学入門				2								2																	
財政学				2									2																
日本経済論入門				2								2																	
日本経済論				2									2																
社会保障論				2											2														
経済統計				2									2																
国際経済学				2											2														
産業組織論入門				2										2															
産業組織論				2												2													
経済学概論			2				2																						
公共経済学入門		2									2																		
公共経済学		2										2																	
環境経済学入門		2										2																	
環境経済学		2											2																
「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)		2						2														2単位以上 いずれか1科目 教免必修					
		倫理学概論(教)		2							2																		
合計	20単位																							28単位以上					

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 29 年度 (2017) 入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A (ふりがな) 氏名

別表 イ (第3条関係)

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科) 2017

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
				必修	教 必修	選択	1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前		後	
高 一 種 免 (地理歴史)	日本史	1単位	日本史(教)	2		2									2単位以上	
			日本経営史		2					2						
			日本経済史		2				2							
			近代日本経済史		2					2						
	外国史	1単位	西洋史(教)	2		2									4単位以上	
			東洋史(教)	2		2										
			経済史		2		2									
			経営史		2			2								
			経済学史		2			2								
			西洋経済史		2					2						
			東洋経済史		2					2						
	人文地理学 及び 自然地理学	1単位	人文地理学概論(教)	2			2								4単位以上	
			自然地理学概論(教)	2				2								
人口学				2			2									
地域経済論				2					2							
交通論				2						2						
都市経済学				2						2						
地誌	1単位	地誌学(教)	2							2			2単位以上			
合計	20単位												36単位以上			

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 29 年度 (2017) 入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号

A

(ふりがな)
氏名

別表ウ (第 3 条関係)

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科) 2017

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数			年次配当時間数								本学最低 修得単位数	
				必修	教 育 必 修	選 択	1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前	後		
高 一 種 免 (公 民)	「法学 学 (国際法を 含む。)、 政治学 (国際政治 を含む。)」	1 単位	法律学概論(国際法を含む)(教)	2					2							2 単位以上
			民法(総則・物権)			2		2								
			民法(債権)			2			2							
			行政法(作用法・組織法)			2					2					
			行政法(救済法)			2						2				
			労働と法			2						2				
				ビジネス法務							2					
	「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	1 単位	マクロ経済学入門	2					2							8 単位以上
			マクロ経済学		2					2						
			ミクロ経済学入門	2					2							
			ミクロ経済学		2					2						
			職業人入門	2			2									
			統計学入門		2					2						
			統計学		2						2					
			医療・福祉マネジメント		2								2			
			経済政策入門		2						2					
			経済政策		2							2				
			財政学入門		2						2					
			財政学		2							2				
			日本経済論入門		2						2					
日本経済論				2							2					
社会保障論				2								2				
経済統計				2							2					
国際経済学			2										2			
産業組織論入門				2							2					
産業組織論		2									2					
経済学概論		2	2													
公共経済学入門		2							2							
公共経済学		2								2						
環境経済学入門		2							2							
環境経済学		2								2						
「哲学、倫理 学、宗教学、 心理学」	1 単位	哲学概論(教)		2					2					2 単位以上 いずれか 1 科目 教免必修		
		倫理学概論(教)		2						2						
合計		20 単位												36 単位以上		

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 29 年度 (2017) 入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A (ふりがな) 氏名

別表工 (第3条関係)

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科) 2017

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数			
				必修	教 必 修	選 択	1年		2年		3年		4年				
							前	後	前	後	前	後	前		後		
高 一 種 免 (商 業)	商業の 関係科目	1単位	簿記入門		2	2										10単位以上	
			初級簿記		4		4										
			中級簿記		4			4									
			上級簿記		4				4								
			会社法		2			2									
			商法総則		2				2								
			金融論入門		2					2							
			金融論		2						2						
			国際金融論		2							2					
			経営戦略論		2							2					
			経営管理論		2								2				
			財務管理論		2								2				
			マーケティング論	2								2					
			生産管理論		2								2				
			流通管理論	2								2					
			販売管理論	2							2						
管理会計論		2							2								
会計監査論		2								2							
税務会計論		2								2							
人的資源管理論		2								2							
職業指導	1単位	職業指導(教)		4						2	2			4単位以上			
合計	20単位													36単位以上			

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成29年度(2017)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 _____ A _____ 氏名 _____ (ふりがな)

別表オ(第3条関係)

教科に関する科目(スポーツ学部 スポーツ学科) 2017

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数				
				必修	教免 必修	1年		2年		3年		4年						
						前	後	前	後	前	後	前	後					
高中 種 免 免 (保健体育)	体育実技	1単位	体操(体づくり運動を含む)	1		2	or	2									8単位以上 ダンスは女子 教免必修 剣道と柔道 はいずれか 1科目男子 教免必修	
			器械運動	1						2	or	2						
			陸上競技A	1						2	or	2						
			陸上競技B	1						2	or	2						
			水泳	1						2	or	2						
			バスケットボール	1						2	or	2						
			バレーボール	1						2	or	2						
			サッカー	1						2	or	2						
			ハンドボール	1										2				
			ラグビー	1										2				
			バドミントン	1								2	or	2				
			テニス	1									2	or	2			
			ソフトボール・野球	1											2			
			ダンス	1	女子								2	or	2			
			剣道	1	男子								2	or	2			
			柔道	1	男子								2	or	2			
キャンプ	1														*	(年間を通じて適切な時期に行う)		
スノースポーツ	1															*	(年間を通じて適切な時期に行う)	
免 免 (保健体育)	「体育原理、 体育心理学、 体育経営管理学、 体育社会学、 体育史」及び 運動学 (運動方法を含む)	1単位	スポーツ運動学(運動方法を含む)	2		2											10単位以上	
			スポーツ心理学	2		2												
			学校体育のマネジメント	2							2							
			スポーツ社会学	2					2									
			スポーツ学概論	2					2									
			スポーツの歴史と文化	2											2			
生理学 (運動生理学を 含む)	1単位	解剖生理学	2			2											4単位以上	
		スポーツ生理学	2				2											
		スポーツ栄養学	2						2									
		スポーツバイオメカニクス	2			2												
衛生学及び 公衆衛生学	1単位	衛生学及び公衆衛生学	2			2											2単位以上	
学校保健 (小児保健、精神 保健、学校安全 及び救急処置を 含む)	1単位	救急法実習	1						2	or	2						5単位以上	
		学校保健Ⅰ(学校安全を含む)	2									2						
		学校保健Ⅱ(小児保健、精神保健を含む)	2										2					
		スポーツ医学	2							2								
合計	20単位													(中一) 28単位以上 (高一) 36単位以上				

※ スポーツ学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 29 年度 (2017) 入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A (ふりがな) 氏名

別表 力 (第 4 条関係)

教職に関する科目 (経済学部・スポーツ学部) 中一種免・高一種免 (全教科) 2017

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法に定める最低単位数	本学開設科目	単位数			年次配当時間数							
科目	各科目に含める必要事項			必修	教免必修 中一種 高一種	選択	1年 前 後	2年 前 後	3年 前 後	4年 前 後				
第2欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2 単位	教 職 論	2	2		2 経入						
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6 単位	教 育 原 論	2	2		2 経	2 ス					
				教 育 史			2					2 経ス		
				教 育 心 理 学	2	2		2 経	2 ス					
				教 育 制 度 論	2	2		2 経	2 ス					
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	教職課程の意義及び編成の方法 特別活動の指導法 各教科の指導法 道徳の指導法 教育の方法及び技術(備教師器及び教材の活用を含む)	中一種 12単位 高一種 6単位	教 育 課 程 論	2	2				2 経ス				
				社会科・地理歴史科教育法	4	4					4 経			
				社会科・公民科教育法	4	4							4 経	
				商業科教育法		4							4 経	
				保健体育科教育法I	2	2			2 ス					
				保健体育科教育法II	2	2				2 ス				
				保健体育科教育法III	2						2 ス			
				保健体育科教育法IV	2							2 ス		
				道徳教育指導法	2				2 経				2 ス	
				教育方法論	2	2						2 経	2 ス	
第5欄	教育実習	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4 単位	生徒・進路指導論	2	2			2 経	2 ス				
				教 育 相 談	2	2			2 経	2 ス				
				教育実習 I	2	2							集 経ス	
第6欄	教職実践演習	2 単位	中一種 5単位 高一種 3単位	教育実習 II	2							集 経ス		
				事前事後指導	1	1							1 経ス	
合計			中一種 31単位 高一種 23単位										2 経ス	

※ 各教科の指導法は該当教科の指導法を履修のこと。
 なお、中一種免の社会の免許を取得希望の者は、「社会科・地理歴史科教育法」及び「社会科・公民科教育法」の2科目を修得しなければならない。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表《記入例》

修得科目確認表 平成 29 年度 (2017) 入学生用

- ①単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ②「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 17A0001

氏名 (ふりがな) きょうりつ たろう 共立 太郎

別表 ア (第3条関係)

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科) 2017

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数			年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
				必修	教免 必修	選択	1年		2年		3年		4年				
							前	後	前	後	前	後	前	後			
	日本史		日本史(教)		②		2										
		西洋史(教)		②		2											
		東洋史(教)		2			2										
		経済史				2			2								
		経営史				△				2							

中略

「哲学、倫理 学、宗教学」	1 単位	哲学概論(教)		②		2											2 単位以上 いずれか 1 科目 教免必修	
		倫理学概論(教)		2			2											
合計	20 単位																	28 単位以上

- ※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。 → 28 単位

修得科目確認表 平成 29 年度 (2017) 入学生用

- ・単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。

学籍番号 17A0001

氏名 (ふりがな) きょうりつ たろう 共立 太郎

別表 カ (第4条関係)

教職に関する科目 (経済学部・スポーツ学部) 中一種免・高一種免 (全教科) 2017

免許法施行規則に 定める科目区分等	免許法 に定める 最低 単位数	本学開設科目	単位数			年次配当時間数												
			必修	教免 必修	選択	1年		2年		3年		4年						
						前	後	前	後	前	後	前	後					
第2欄 教職の意義 等に関する 科目	2 単位	教職論		②	②													
第3欄 教育の基礎 理論に関する 科目		6 単位	教育原論		②	②		経	ス									
	教育史					△							2	経	ス			
	教育心理学			△	△			2	経	ス								

中一種・高一種の両方の免許取得希望の場合は、それぞれ単位数に○あるいは△をしてください。

中略

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
- ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

別表ア(第3条関係)

学籍番号

A

(ふりがな)
氏名

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) 2018

免許教科	免許法施行規則に定める科目区分	免許法に定める最低単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低修得単位数	
				必修	数必修	選択	1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前		後
中 一 種 免 (社 会)	日本史及び外国史	1単位	日本史(教)	2		2									6単位以上
			西洋史(教)	2		2									
			東洋史(教)	2			2								
			経済史		2			2							
			経営史		2				2						
			日本経営史		2						2				
			日本経済史		2					2					
			経済学史		2					2					
			近代日本経済史		2							2			
	西洋経済史		2							2					
	東洋経済史		2							2					
	地理学(地誌を含む。)	1単位	自然地理学概論(教)	2						2					6単位以上
			地誌学(教)	2								2			
			人文地理学概論(教)	2				2							
			都市経済学		2							2			
			地域経済論		2							2			
	「法学、政治学」	1単位	法学概論(国憲法を含む。)(教)	2						2				2単位以上	
			民法(総則・物権)		2					2					
			民法(債権)		2						2				
			行政法(作用法・組織法)		2							2			
			行政法(救済法)		2							2			
			労働と法		2							2			
			ビジネス法務		2								2		
	「社会学、経済学」	1単位	マクロ経済学入門	2						2				8単位以上	
			マクロ経済学		2						2				
			ミクロ経済学入門	2							2				
			ミクロ経済学		2						2				
			職業人入門	2		2									
			統計学入門		2						2				
			統計学		2						2				
			医療・福祉マネジメント		2							2			
			経済政策入門		2						2				
			経済政策		2							2			
			財政学入門		2						2				
			財政学		2						2				
			日本経済論入門		2						2				
日本経済論				2						2					
社会保障論				2							2				
経済統計				2							2				
国際経済学				2							2				
産業組織論入門				2							2				
産業組織論				2							2				
経済学概論			2		2										
公共経済学入門		2							2						
公共経済学		2							2						
環境経済学入門		2							2						
環境経済学		2							2						
「哲学、倫理学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)	2						2				2単位以上 いずれか1科目 教免必修		
		倫理学概論(教)	2						2						
合計		20単位											28単位以上		

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
※ (教)は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A 氏名 (ふりがな)

別表 イ (第3条関係)

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
				必修	教 必修	選 択	1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前		後	
高 一 種 免 (地理歴史)	日本史	1単位	日本史(教)	2			2								2単位以上	
			日本経営史		2					2						
			日本経済史		2				2							
			近代日本経済史		2					2						
	外国史	1単位	西洋史(教)	2		2									4単位以上	
			東洋史(教)	2			2									
			経済史		2			2								
			経営史		2				2							
			経済学史		2				2							
			西洋経済史		2						2					
	人文地理学 及び 自然地理学	1単位	人文地理学概論(教)	2				2							4単位以上	
			自然地理学概論(教)	2					2							
			人口学		2			2								
			地域経済論		2						2					
			交通論		2							2				
	地誌	1単位	都市経済学		2						2				2単位以上	
地誌学(教)			2							2						
合計	20単位													36単位以上		

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教)は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A 氏名 (ふりがな)

別表ウ (第3条関係)

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数	
				必修	数 必修	選択	1年		2年		3年		4年		
							前	後	前	後	前	後	前		後
高 一 種 免 (公 民)	「法学 (国際法を 含む。)、 政治学 (国際政治 を含む。)」	1単位	法律学概論(国際法を含む)(教)	2				2							2単位以上
			民法(総則・物権)		2			2							
			民法(債権)		2				2						
			行政法(作用法・組織法)		2						2				
			行政法(救済法)		2							2			
			労働と法		2							2			
				ビジネス法務		2							2		
		「社会学、 経済学 (国際経済 を含む。)」	1単位	マクロ経済学入門	2				2						8単位以上
	マクロ経済学				2				2						
	ミクロ経済学入門			2				2							
	ミクロ経済学				2				2						
	職業人入門			2			2								
	統計学入門				2				2						
	統計学				2					2					
	医療・福祉マネジメント				2							2			
	経済政策入門				2					2					
	経済政策				2						2				
	財政学入門				2					2					
	財政学				2						2				
	日本経済論入門				2					2					
日本経済論				2						2					
社会保障論		2							2						
経済統計		2						2							
国際経済学	2									2					
産業組織論入門		2						2							
産業組織論		2							2						
経済学概論		2	2												
公共経済学入門		2						2							
公共経済学		2							2						
環境経済学入門		2						2							
環境経済学		2							2						
「哲学、倫理 学、宗教学、 心理学」	1単位	哲学概論(教)		2				2					2単位以上 いずれか1科目 数免必修		
		倫理学概論(教)		2					2						
合計	20単位												36単位以上		

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教)は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 30 年度 (2018) 入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号

A

(ふりがな)
氏名

別表工 (第3条関係)

教科に関する科目 (経済学部 経済・経営学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数	
				必修	専修	1年		2年		3年		4年			
						前	後	前	後	前	後	前	後		
高 一 種 免 (商 業)	商業の 関係科目	1単位	簿記入門		2	2									10単位以上
			初級簿記		4		4								
			中級簿記		4			4							
			上級簿記		4				4						
			会社法		2			2							
			商法総則		2				2						
			金融論入門		2				2						
			金融論		2					2					
			国際金融論		2						2				
			経営戦略論		2						2				
			経営管理論		2							2			
			財務管理論		2								2		
			マーケティング論	2								2			
			生産管理論		2								2		
			流通管理論	2								2			
			販売管理論	2							2				
			管理会計論		2							2			
会計監査論		2								2					
税務会計論		2								2					
人的資源管理論		2								2					
職業指導	1単位	職業指導(教)	4						2	2		4単位以上			
合計	20単位											36単位以上			

※ 経済学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。
 ※ (教) は卒業要件に含まれない自由科目。

修得済みと履修中（または今年度履修予定）の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 30 年度 (2018) 入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A 氏名 (ふりがな)

別表オ (第3条関係)

教科に関する科目 (スポーツ学部 スポーツ学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法に 定める 最低 単位数	本学開講科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数			
				必修	教免 必修	選択	1年		2年		3年		4年				
							前	後	前	後	前	後	前		後		
高中 種	体育実技	1単位	体操(体づくり運動を含む。)	1			2or2									8単位以上	
			器械運動	1				2or2									
			陸上競技A	1				2or2									
			陸上競技B	1					2or2								
			水泳	1					2or2								
			バスケットボール	1				2or2									
			バレーボール	1					2or2								
			サッカー		1		2or2										
			ハンドボール		1							2					
			ラグビー		1							2					
			バドミントン		1					2or2							
			テニス		1							2or2					
			ソフトボール・野球		1								2				
			ダンス	1 女子							2or2						ダンスは女子 教免必修 剣道と柔道 はいずれか 1科目男子 教免必修
			剣道		1 男子						2or2						
柔道		1 男子						2or2									
			キャンプ		1		* (年間を通じて適切な時期に行う)										
			スノースポーツ		1		* (年間を通じて適切な時期に行う)										
免 種 (保健体育)	「体育原理、 体育心理学、 体育経営管理学、 体育社会学、 体育史」及び 運動学 (運動方法学を含む。)	1単位	スポーツ運動学(運動方法学を含む。)	2		2									10単位以上		
			スポーツ心理学	2			2										
			学校体育のマネジメント	2						2							
			スポーツ社会学	2			2										
			スポーツ学概論	2			2										
			スポーツの歴史と文化		2								2				
	生理学 (運動生理学を 含む。)	1単位	解剖生理学	2		2									4単位以上		
			スポーツ生理学	2			2										
			スポーツ栄養学		2				2								
			スポーツバイオメカニクス		2		2										
	衛生学及び 公衆衛生学	1単位	衛生学及び公衆衛生学	2		2								2単位以上			
	学校保健 (小児保健、精神 保健、学校安全 及び救急処置を 含む。)	1単位	救急法実習	1				2or2							5単位以上		
			学校保健I(学校安全を含む。)	2						2							
			学校保健II(小児保健、精神保健を含む。)	2								2					
			スポーツ医学		2				2								
合計	20単位												(中一) 28単位以上 (高一) 36単位以上				

※ スポーツ学部が独自に定める教育実習内規の要件を満たさなければ教育実習の履修はできない。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

学籍番号 A 氏名 (ふりがな)

別表 カ (第4条関係)

教職に関する科目 (経済学部・スポーツ学部) 中一種免・高一種免 (全教科) 2018

免許法施行規則に定める科目区分等	科目	各科目に含める必要事項	免許法に定める最低単位数	本学開設科目	単位数			年次配当時間数												
					必修	教免必修		選択	1年		2年		3年		4年					
						中一種	高一種		前	後	前	後	前	後	前	後				
第2欄	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教 職 論	2	2		2	経	入										
第3欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(得意のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6	教育原論	2	2		2	経	入										
				教育史			2						2	経	入					
				教育心理学	2	2			2	経	入									
				教育制度論	2	2			2	経	入									
第4欄	教育課程及び指導法に関する科目	教職課程の意義及び編成の方法 特別活動の指導法 各教科の指導法 道徳の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	中一種 12単位 高一種 6単位	教育課程論	2	2					2	経	入							
				社会科・地理歴史科教育法	4	4							4	経						
				社会科・公民科教育法	4	4									4	経				
				商業科教育法		4									4	経				
				保健体育科教育法I	2	2				2	入									
				保健体育科教育法II	2	2					2	入								
				保健体育科教育法III	2								2	入						
				保健体育科教育法IV	2										2	入				
				道徳教育指導法	2					2	経				2	入				
				教育方法論	2	2								2	経	入				
第5欄	教育実習	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4	生徒・進路指導論	2	2					2	経	入							
				教育相談	2	2				2	経	入								
第6欄	教職実践演習		2	教育実習 I	2	2												集中修入		
				教育実習 II	2														集中修入	
				事前事後指導	1	1													1 経 入	
合計			中一種 31単位 高一種 23単位															2 経 入		

※ 各教科の指導法は該当教科の指導法を履修のこと。
 なお、中一種免の社会の免許を取得希望の者は、「社会科・地理歴史科教育法」及び「社会科・公民科教育法」の2科目を修得しなければならない。

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ _____ 単位

修得科目確認表 平成 30 年度 (2018) 入学生用

・単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中（または今年度履修予定）は△で囲むこと。

学籍番号

A

(ふりがな)
氏 名

別表 キ (第7条関係)

免許法施行規則第66条の6に関する科目 (経済学部・スポーツ学部) **2018**

免許 教科	免許法施行 第66条6に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開講科目	単位数			年次配当時間数								本学最低 修得単位数			
				必修	教 免 必修	選択	1年		2年		3年		4年					
							前	後	前	後	前	後	前	後				
中一 種免・高 一 種免 (全教科)	日本国憲法	2単位	現代国家と法 (日本国憲法)	2			2	or 2										
	体 育	2単位	健 康 の 科 学	2			2	or 2										経済学部のみ
			体カトレーニング論	2							2							スポーツ学部のみ
			ス ポ ー ツ A		1	2												経済学部のみ
			ス ポ ー ツ B		1	2												いずれか1科目 教免必修
	外国語 コミュニケーション	2単位	英語コミュニケーションI	1					2									
			英語コミュニケーションII	1						2								
	情報機器 の 操 作	2単位	情報処理演習 I	1		2												
			情報処理演習 II	1		2												

修得科目確認表《記入例》

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ① 単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。
 ② 「教科に関する科目」は、右下にある合計単位数の欄に修得済みと履修中の単位数合計を記入すること。

(ふりがな) きょうりつ たろう
 学籍番号 18A0001 氏名 共立 太郎

別表ア(第3条関係)

教科に関する科目(経済学部 経済・経営学科) 2018

免許 教科	免許法施行 規則に定める 科目区分	免許法 に定め る最低 単位数	本学開設科目	単位数		年次配当時間数								本学最低 修得単位数		
				必修	教免 必修	選択	1年		2年		3年		4年			
							前	後	前	後	前	後	前		後	
	日本史		日本史(教)	②			2									
西洋史(教)			②			2										
東洋史(教)			2				2									
経済史				△					2							
経営史				②							2					

中略

「哲学、倫理 学、宗教学」	1単位	哲学概論(教)		2			2								2単位以上 いずれか1科目 教免必修
		倫理学概論(教)		2				2							
合計	20単位														28単位以上

修得済みと履修中(または今年度履修予定)の単位数合計を記入してください。→ 28 単位

修得科目確認表 平成30年度(2018)入学生用

- ・単位数の欄の数字を修得済みは○、履修中(または今年度履修予定)は△で囲むこと。

(ふりがな) きょうりつ たろう
 学籍番号 18A0001 氏名 共立 太郎

別表カ(第4条関係)

教職に関する科目(経済学部・スポーツ学部) 中一種免・高一種免(全教科) 2018

免許法施行規則に 定める科目区分等	免許法 に定め る最低 単位数	本学開設科目	単位数		年次配当時間数										
			必修	教免 必修	1年		2年		3年		4年				
					前	後	前	後	前	後	前	後			
第2欄 教職の意義 等に関する 科目	2単位	教職論	②	②											
第3欄 教育の基礎 理論に関する 科目		教育原論	②	②											
	6単位	教育史												2 経 入	
		教育心理学	△	△			2 経	2 ス							

中一種・高一種の両方の免許取得希望の場合は、それぞれの単位数に○あるいは△をしてください。

中略

事前事後指導について（3年後期教職ガイダンス）

本学では、事前事後指導の事前指導にあたる内容を例年3年次後期の月曜日の1限に行っています。事前事後指導は、教員免許取得のために必須の科目となっております。履修登録は4年次に行うため、今期に履修登録を行う必要はありませんが、授業にはこの後期から参加する必要があります。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、遠隔授業（オンデマンド型）が中心となる見通しです。

第1回目は、9月28日（月）から開始されます。授業の内容は、teamsの「教職3年生（事前事後指導）」に毎週月曜日にアップされますので、必ず確認し、各回の課題に取り組んでください。

事前事後指導に参加しなかった場合、次年度の教育実習に行くことができなくなります。各自の履修登録の画面には事前事後指導は記載されませんが、授業には必ず参加してください。

教職課程公式 LINE アカウントについて（3～4 年生）

教職課程を履修している 3～4 年生の LINE アカウントに登録をしていない学生は、該当学年のアカウントに登録するようにしてください。

教職課程 4 年生 公式 LINE アカウント

（令和 2 年度に教育実習を行う予定の科目等履修生も登録してください。）

@839etpge



<https://lin.ee/Dw43WQFM>

教職課程 3 年生 公式 LINE アカウント

（令和 3 年度に教育実習を行う予定の 4 年生及び科目等履修生も登録してください。）

@418kdtya



<https://lin.ee/4zGihWweZ>